

伝票機能設定

伝票ごとに設定できる各機能のON,OFFを切り替えます。

設定した機能は全ユーザ共通で適用され、即時設定が反映されます。

チェック欄が緑色になっているものは変更できません。
(一部、運用開始後には変更できない項目があります。)

1) 設定方法

- ・画面左の「発注」「仕入」「受注」「売上」などの各ボタンを押し、各伝票ごとの機能設定を行います。
- ・項目のチェックをONにすると、次回の入力画面起動時から設定した機能が有効となります。
- ・全ての設定が終わったら、「更新」ボタンにて設定反映します。

伝票機能設定

使用する機能のチェックをONにしてください
(チェックが緑の項目は変更できません)

全て選択 (A) 全て解除 (Q)

1	<input checked="" type="checkbox"/>	受注Noを使用する
2	<input type="checkbox"/>	受注No入力必須
3	<input checked="" type="checkbox"/>	ご担当者名を使用する
4	<input checked="" type="checkbox"/>	直送先を使用する
5	<input checked="" type="checkbox"/>	直送先住所等を使用する
6	<input checked="" type="checkbox"/>	受注データの納入先を複写する
7	<input type="checkbox"/>	地区を使用する
8	<input checked="" type="checkbox"/>	摘要を使用する
9	<input checked="" type="checkbox"/>	メモ入力を使用する
10	<input type="checkbox"/>	有効在庫を優先させる
11	<input checked="" type="checkbox"/>	納期を明細単位で入力する
12	<input type="checkbox"/>	仕入先別商品の最終仕入単価を使用する
13	<input type="checkbox"/>	単価計算ダイアログを自動表示する
14	<input checked="" type="checkbox"/>	受注原価単価を発注単価にする
15	<input checked="" type="checkbox"/>	即伝発行を行う (注文書)

更新 (F5) 取消 (F6) 終了 (F12)

2) 各伝票項目説明

伝票機能項目説明(発注)

項目名称	説明
受注Noを使用する ※通常はチェックOnから変更しないでください	受注Noを指定してのリレー発注計上により、受注残の管理を行います。導入開始日以降は変更できません。
受注No入力必須 ※通常はチェックOnから変更しないでください	受注Noを入力必須にします。
ご担当者名を使用する	発注入力画面でご担当者名を入力できます。
直送先を使用する	発注入力画面で直送先を入力できます。
直送先住所等を使用する	発注入力画面で直送先の住所、電話番号を入力できます。 (「直送先を使用する」ON時のみ設定可能)
受注データの納入先を複写する	受注からリレーで発注処理した場合に、受注伝票で指定していた納入先名1, 2、TEL、住所1, 2を直送先の欄に複写します。 (コードは空白)
地区を使用する	発注入力画面で地区を入力できます
摘要を使用する	発注入力画面で摘要を入力できます。
メモ入力を使用する	発注入力画面にメモボタンを表示し、メモを入力できます。
有効在庫を優先させる	発注伝票登録時に、最終有効在庫数と、最大、最小在庫との比較をし、警告を表示します。 ※チェックOFFの場合は実在庫にて在庫チェックされます。
納期を明細単位で入力する	発注入力画面で納期を明細行に表示し、明細単位で納期を指定できます。
仕入先別商品の最終仕入単価を使用する	仕入先ごとの商品最終仕入単価を単価欄に初期表示します。 全仕入先が同じ扱いになるので、設定時は注意してください。
単価計算ダイアログを自動表示する	明細行にてEnterで単価の欄にカーソルを移動した場合、商品の単価一覧が自動で表示されます。
受注原価単価を発注単価にする	発注入力画面で受注Noを指定した場合、指定した受注明細行の原単価が発注単価に設定されます。
即伝発行を行う(注文書)	発注入力画面より発注伝票を登録時に即時で注文書または加工依頼書を印刷します。

伝票機能項目説明(仕入)

項目名称	説明
発注Noを使用する ※通常はチェックOnから変更しないでください	発注Noを指定してのリレー仕入計上により、発注残の管理を行います。導入開始日以降は変更できません。
発注No入力必須	発注Noを入力必須にします。このチェックがONの場合、仕入伝票は必ず発注リレーで作成する必要があります。
受注Noを使用する ※通常はチェックOnから変更しないでください	受注Noを指定してのリレー仕入計上により、受注残の管理を行います。導入開始日以降は変更できません。
支払時一括消費税伝票の修正削除あり	支払締切処理にて自動で作成された消費税調整伝票を修正でよびだし、金額の修正、伝票削除を可能とします。
直送先を使用する	仕入入力画面で直送先を入力できます。
直送先住所等を使用する	仕入入力画面で直送先の住所、電話番号を入力できます。 (「直送先を使用する」ON時のみ設定可能)
受注データの納入先を複写する	受注からリレーで発注入力した場合に、受注伝票で指定していた納入先名1, 2、TEL、住所1, 2を直送先の欄に複写します。 (コードは空白)
地区を使用する	仕入入力画面で地区を入力できます。
摘要を使用する	仕入入力画面で摘要を入力できます。
メモ入力を使用する	仕入入力画面にメモボタンを表示し、メモを入力できます。
分納あり、全数を一部に変更する	発注No指定(リレー入力)にて仕入入力している場合、発注時の数量を小さく変更した場合に、入荷区分を全数から一部に自動的に変更します。 (分納扱いとし、発注残管理をする)
有効在庫を優先させる	仕入伝票登録時に、最終有効在庫数と、最大、最小在庫との比較をし、警告を表示します。 ※チェックOFFの場合は実在庫にて在庫チェックされます。
発注Noを明細単位で入力する ※通常はチェックOnから変更しないでください	発注からリレーした場合、仕入伝票の明細行へ発注Noと発注行Noを設定できます。
仕入先別商品の最終仕入単価を使用	仕入先ごとの商品最終仕入単価を単価欄に初期表示します。 全仕入先が同じ扱いになるので、設定時は注意してください。
単価計算ダイアログを自動表示する	明細行にてEnterで単価の欄にカーソルを移動した場合、商品の単価一覧が自動で表示されます。
受注/売上原価単価を仕入単価にする	仕入入力画面で受注Noを指定した場合、指定した受注明細行の原単価が発注単価に設定されます。

伝票機能項目説明(支払)

項目名称	説明
摘要を使用する	支払入力画面で摘要を入力できます。
当月支払額を表示する	支払入力画面に当月(締日)の支払額を表示します。 表示される金額には現在入力中の金額も含まれます。
支払予定額を表示する	支払入力画面に当月の支払予定額を表示します。
同時相殺処理をする	明細に相殺伝区を使用する場合(支払金額≠0)、相殺得意先が指定されていれば伝票の新規登録後に支払同時入金相殺入力画面を表示します。

伝票機能項目説明(見積)

項目名称	説明
ご担当者名を使用する	見積入力画面でご担当者名を入力できます。
摘要を使用する	見積入力画面で摘要を入力できます。
メモ入力を使用する	見積入力画面にメモボタンを表示し、メモを入力できます。
得意先別商品の最終売上単価を使用する	得意先ごとの商品最終売上単価を単価欄に初期表示します。 (各マスタの単価は初期表示されなくなります。) 全得意先が同じ扱いになるので、設定時は注意してください。
納入先を使用する	見積入力画面で納入先コード、納入先名1, 2を入力できます。
単価計算ダイアログを自動表示する	明細行にてEnterで単価の欄にカーソルを移動した場合、商品の単価一覧が自動で表示されます。
納入先住所等を使用する	見積入力画面で納入先住所1, 2、納入先TEL、納入先郵便番号を入力できます。 ※「納入先を使用する」チェックOFF時は指定できません。
粗利益及び率を表示する	見積入力画面下部に、「粗利益」と粗利の「率」を表示します。
即伝発行を行う(見積書)	見積入力画面より見積伝票を登録時に即時で見積書を印刷します。
地区を使用する	見積入力画面で地区を入力できます

伝票機能項目説明(受注)

項目名称	説明
ご担当者名を使用する	受注入力画面でご担当者名を入力できます。
納入先を使用する	受注入力画面で納入先コード、納入先名1, 2を入力できます。
納入先住所等を使用する	受注入力画面で納入先住所1, 2、納入先TEL、納入先郵便番号を入力できます。 ※「納入先を使用する」チェックOFF時は指定できません。
同時発注時、納入先を複写する	受注同時発注した場合に、受注伝票で指定していた納入先名1, 2、TEL、住所1, 2を発注伝票の直送先の欄に複写します。(コードは空白)
地区を使用する	受注入力画面で地区を入力できます。
先方注文Noを使用する	受注入力画面で先方注文Noを入力できます。
摘要を使用する	受注入力画面で摘要を入力できます。
メモ入力を使用する	受注入力画面にメモボタンを表示し、メモを入力できます。
有効在庫を優先させる	伝票登録時に、有効在庫数と、最大、最小在庫との比較をし、警告を表示します。 ※チェックOFFの場合は実在庫にて在庫チェックされます。
納期を明細単位で入力する	受注入力で明細行に納期を入力できます。
得意先別商品の最終売上単価を使用する	得意先ごとの商品最終売上単価を単価欄に初期表示します。 (各マスタの単価は初期表示されなくなります。) 全得意先が同じ扱いになるので、設定時は注意してください。
単価計算ダイアログを自動表示する	明細行にてEnterで単価の欄にカーソルを移動した場合、商品の単価一覧が自動で表示されます。
同時発注処理を行う	受注入力の新規更新時に「同時発注しますか」のメッセージを表示します。「はい」にて発注入力画面を表示して同時発注入力ができます。
粗利益及び率を表示する	受注入力画面下部に、「粗利益」と粗利の「率」を表示します。
即伝発行を行う(出庫伝票)	受注入力画面より受注伝票を登録時に即時で出庫伝票または注文請書を印刷します。

伝票機能項目説明(売上)

項目名称	説明
受注Noを使用する ※通常はチェックOnから変更しないでください	受注Noを指定してのリレー売上計上により、受注残の管理を行います。導入開始日以降は変更できません。
受注No入力必須 ※通常はチェックOnから変更しないでください	受注Noを入力必須にします。
請求時一括消費税伝票の修正削除あり	請求締切処理にて自動で作成された消費税調整伝票を修正でよびだし、金額の修正、伝票削除を可能とします。
ご担当者名を使用する	売上入力画面でご担当者名を入力できます。
納入先を使用する	売上入力画面で納入先コード、納入先名1, 2を入力できます。
納入先住所等を使用する	売上入力画面で納入先住所1, 2、納入先TEL、納入先郵便番号を入力できます。受注からリレーで発注処理した場合に、受注伝票で指定していた納入先名1, 2、TEL、住所1, 2を直送先の欄に複写します。(コードは空白)
同時仕入時、納入先を複写する	売上同時仕入した場合に、売上传票で指定していた納入先名1, 2、TEL、住所1, 2を仕入伝票の直送先の欄に複写します。(コードは空白)
地区を使用する	売上入力画面で地区を入力できます
先方注文Noを使用する	売上入力画面で先方注文Noを入力できます。
摘要を使用する	売上入力画面で摘要を入力できます。
メモ入力を使用する	売上入力画面にメモボタンを表示し、メモを入力できます。
分納あり、全数を一部に自動変更する	受注No指定(リレー入力)にて売上入力している場合、受注時の数量を小さく変更した場合に、出荷区分を全数から一部に自動的に変更します。(分納扱いとし、受注残管理をする)
有効在庫を優先させる	伝票登録時に、有効在庫数と、最大、最小在庫との比較をし、警告を表示します。 ※チェックOFFの場合は実在庫にて在庫チェックされます。
受注Noを明細単位で入力する ※通常はチェックOnから変更しないでください	売上入力画面の明細部に受注No、受注行Noの欄を表示して1売上複数受注に対応します。運用開始後は変更ができません。
得意先別商品の最終売上単価を使用	得意先ごとの商品最終売上単価を単価欄に初期表示します。 (各マスタの単価は初期表示されなくなります。) 全得意先が同じ扱いになるので、設定時は注意してください。
単価計算ダイアログを自動表示する	明細行にてEnterで単価の欄にカーソルを移動した場合、商品の単価一覧が自動で表示されます。
同時仕入処理をする	売上入力の新規更新時に「同時仕入しますか」のメッセージ表示します。「はい」にて仕入入力画面を表示して同時仕入可能とします。

伝票機能項目説明(売上) 続き

項目名称	説明
受注原価を使用する	受注入力で使用した原単価を売上入力の明細行の売上原単価に初期表示します。
粗利益及び率を表示する	売上入力画面下部に、「粗利益」と粗利の「率」を表示します。
即伝発行を行う(納品書)	売上入力画面より売上傳票を登録時に受注からリレーで発注処理した場合に、受注伝票で指定していた納入先名1, 2、TEL、住所1, 2を直送先の欄に複写します。(コードは空白)

伝票機能項目説明(入金)

項目名称	説明
摘要を使用する	入金入力画面で摘要を入力できます。
回収予定額を表示する	入金入力画面右側に当月の回収予定額を表示します。 売上回収予定日での請求先の回収予定額を集計します。
当月回収額を表示する	入金入力画面右側に当月の回収額(入金済)を表示します。 表示される金額には現在入力中の金額も含みます。 "当月"は、入金伝票日付から締日が自動判定され、締日単位で過去入金伝票から集計して表示されます。
同時相殺処理をする	明細に相殺伝区を使用する場合(入金額≠0)、相殺仕入先が指定されていれば伝票の新規登録後に入金同時支払相殺入力画面を表示します。

伝票機能項目説明(入出庫)

項目名称	説明
摘要を使用する	入出庫入力画面で摘要を入力できます。 入力できます。
出庫で受注Noを明細単位で入力する	出庫処理のとき受注Noを入力できます。 受注No別原価表の受注Noごとの原価に出庫を含める場合は、当機能を利用します。
出庫で受注No必須入力	出庫処理のとき受注Noを入力必須にします。 ※「受注Noを使用する」チェックOFF時は使用できません。
有効在庫を優先させる	伝票登録時に、有効在庫数と、最大、最小在庫との比較をし、警告を表示します。 ※チェックOFFの場合は実在庫にて在庫チェックされます。

伝票機能項目説明(生産)

項目名称	説明
材料とは別に構成品や加工費を入力する	生産伝票の明細で、構成品の行(青色背景)の明細が入力できます。
端材入庫の明細を入力する	生産伝票の明細で、入庫の行(橙色背景)の明細が入力できます。
有効在庫を優先させる	伝票登録時に、有効在庫数と、最大、最小在庫との比較をし、警告を表示します。 ※チェックOFFの場合は実在庫にて在庫チェックされます。

伝票機能項目説明(加工)

項目名称	説明
受注Noを使用する	製品明細を受注の内容から自動作成したり、受注明細と紐づけることができます。製品明細と受注明細を紐づけることで、受注No別原価表で集計することが可能となります。
受注データの納入先を複写する	受注Noを指定して加工入力を開始した場合に、納入先に受注の納入先を複写します。
受注データのご担当者を複写する	受注Noを指定して加工入力を開始した場合に、ご担当者に受注のご担当者を複写します。
加工区分は「実績」を初期値とする	新規入力時の加工区分の初期値が実績となります。
「スクラップ重量分の原価を製品原価へ加える」の初期値はチェックON	新規入力時の、「スクラップ重量分の原価を製品原価へ加える」のチェックの初期値がONとなります。
「スクラップ金額を製品原価から差し引く」の初期値はチェックON	新規入力時の、「スクラップ金額を製品原価から差し引く」のチェックの初期値がONとなります。